

仙台市で5月10日に行われる仙台国際ハーフマラソン大会(仙台市、河北新報社など主催)で、コースに初めて自動体外式除細動器(AED)が配備される。3月の東京マラソンでは、タレントの松村邦洋さんがAEDで一命を取り留めた。東北大病院の医師らボランティアスタッフが万に備える。

◇ 配備するのは6台。宮城県心筋梗塞(こころまて)対策協議会を中心に集ま

来月10日・仙台ハーフマラソン

# 安心のランへ AED初配備

つた医師や看護師、救命救急士らが5分置きに待機し、倒れた選手の元にバイクで駆け付ける。協議会は、毎年秋に宮城松島町で行われる松

難。普段トレーニングを積んでいる人でも、心疾のリスクは当然ある。と備えの重要性を強調する。レースには一般、車いすの部に史上最多の12

## 松村邦洋さん救った機器

島ハーフマラソンでAEDを配備してきた。実際に使用したことは、健太東北大学院医学系研究科准教授は「運動時の突然死は予測が困

## 東北大医師ら待機



仙台ハーフマラソンに配備されるAEDを点検する伊藤准教授